

身体障害のリハビリテーション

3分野合同研修会【応用編】

□会 期：平成27年12月6日(日) 9:30~17:30 (受付開始 8:30~)

□会 場：総合病院回生病院 新館5階 講堂

(〒762-0007 香川県坂出市室町3-5-28 TEL: 0877-46-1011)

□研修内容：脳卒中片麻痺患者の評価と治療、運動器疾患へ対するハンドセラピー、福祉用具を含めたシーティング技法など異なる3分野の複合研修を通し、臨床での応用実践能力を高める。

□講 師：①藤本 弾 (総合病院回生病院, 作業療法士: 香川県活動分析研究会代表)

②石井誠二 (総合病院回生病院, 作業療法士: 香川ハンドセラピー研究会代表)

③土居道康 (南松山病院, 作業療法士: 四国シーティング研究会代表)

□プログラム

9:00~9:30	受付・開会
9:40~10:40 (60分)	脳卒中片麻痺 ：片麻痺者のADLへの介入 中枢神経疾患患者がADL場面で陥りやすい困難性について紹介し、その背景について障害像を踏まえて解説する。また、具体的な介入方法として症例を通して紹介する。
10:50~11:50 (60分)	ハンドセラピー ：橈骨遠位端骨折の評価と治療 臨床上遭遇しやすい橈骨遠位端骨折のハンドセラピーについて、術後管理のピットフォールからセラピーの実際について画像読影のポイントも併せて解説する。
12:00~13:00 (60分)	シーティング ：車いすとクッションの基本特性と理解 シーティングを実施するにあたって、車いすとクッションの選定方法は重要となる。今回、実際の機器を使用しながら基本特性と適合方法を紹介する。
13:00~14:00	昼休憩
14:00~15:00 (60分)	脳卒中片麻痺 ：高次脳機能障害に対する介入 臨床場面で多くみられる高次脳機能障害について紹介し、その現象の解釈と関わり方、治療的介入方法を症例を通して紹介する。
15:10~16:10 (60分)	ハンドセラピー ：疾患別スプリント療法の理論と実際 骨折や末梢神経障害などの運動器疾患に加えて、脳卒中片麻痺などの中枢神経疾患に対するSplintingについて、事例を通してその理論と臨床での実際を紹介する。
16:20~17:20 (60分)	シーティング ：シーティング・クリニックの手順と実際 シーティング・クリニックを実施する上で評価→選定・適合→治療の手順を追って実施する必要がある。今回、介入から選定・適合まで一連の実施手順を症例を通して紹介する。
17:30	閉会